

第2類医薬品

芍薬甘草湯

顆粒 **満量処方**

第2類医薬品



筋肉の急激なけいれんを伴う
痛みのある人のこむらがえり
腹痛・腰痛に



顆粒
21包

芍薬甘草湯

日本薬局方 芍薬甘草湯エキス
の生薬量最大の
12g 処方の生薬から抽出して得られた
乾燥エキスを全量配合した顆粒剤

【用法・用量】

1日2~3回服用してください。
*微温湯又は水で服用してください。

年齢	1回量
成人(15歳以上)	1包
7歳以上 15歳未満	2/3包
4歳以上 7歳未満	1/2包
2歳以上 4歳未満	1/3包
2歳未満	1/4包

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。

【成分・分量】

成人1日量3包(1包2g)中 日局 芍薬甘草湯エキス2.4g

成分	分量
日局 シャクヤク	6g
日局 カンゾウ	6g

より製した乾燥エキス

添加物:乳糖水和物、ハレジオン[®]、メタケイ酸アルミン酸Mg、
ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースCa、ステアリン酸Mg

<成分・分量に関連する注意>

本剤は天然物(生薬)のエキスをを用いていますので、
顆粒の色調等が多少異なることがあります。

【保管及び取扱上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 湿気などにより薬が固化することがありますので、
1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を
折り返して保管し、速やかに服用してください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

【お客様相談室】 ☎ 06-6423-0565

(祝日を除く月~金曜日10:00~17:00)

【製造販売元】

株式会社 阪本漢法製薬

兵庫県尼崎市名神町1-5-12

副作用被害救済制度 ☎ 0120-149-931

第2類医薬品

芍薬甘草湯



顆粒

日本薬局方 芍薬甘草湯エキス
の生薬量最大の12g 処方の生薬から抽出して得られた
乾燥エキスを全量配合した顆粒剤

持ち運びに便利な分包品

SHAKUYAKUKANZOTO

体力に関わらず使用でき、筋肉の急激なけいれんを伴う痛みのあるものの次の諸症

こむらがえり、筋肉のけいれん、腹痛、腰痛

体力に関わらず使用でき、筋肉の急激なけいれんを伴う痛みのあるものの次の諸症

こむらがえり、筋肉のけいれん、腹痛、腰痛

S2



4 987076 314452

製造番号

使用期限



袋:PE、金属



箱

押して開ける

服用前にこの箱の説明書を必ずお読みください。また、添付文書は挿入して
おりませんので、必要ときに読めるよう、この箱を大切に保管してください。

【薬効名】 漢方製剤

【販売名】 阪本漢法の芍薬甘草湯顆粒

第2類医薬品

【特徴】

- 「芍薬甘草湯」は漢方の鎮痛剤といわれ、急激におこる筋肉のけいれんを伴う痛み、こむらがえり、腹痛、腰痛などの症状を改善するための処方です。
- 本剤は「芍薬甘草湯」の1日最大量の生薬より抽出したエキスを配合した満量処方です。
- 本剤は飲みやすく服用量を調節しやすい顆粒で、頓服として用いられます。

△使用上の注意

☒ **してはいけないこと**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 生後3か月未満の乳児。
- (2) 次の診断を受けた人。
心臓病

2. 症状があるときのみの服用にとどめ、連用しないでください

☒ **相談すること**

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 次の症状のある人。
むくみ
- (5) 次の診断を受けた人。
高血圧、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つばり感やこむらごりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
うっ血性心不全、心室頻拍	全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

【効能・効果】 体力に関わらず使用でき、筋肉の急激なけいれんを伴う痛みのあるものの次の諸症:こむらがえり、筋肉のけいれん、腹痛、腰痛